

書窓

Shoso

No.451

2022.12

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561
兵庫県揖保郡太子町鰯
1310 番地 7

Tel (079)277-1580
Fax(079)277-5684

子どもの本だな 109

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

かさじぞう

瀬田 貞二 再話 赤羽 末吉 画 (福音館書店)

昔あるところに、貧乏なじいさんとばあさんが住んでいました。ある年の大晦日、じいさんは正月の餅を買うため、編笠を5つこしらえ町に売りに行きました。しかしひとつも売れず、そのうち日が暮れ雪も降ってきました。仕方なく家に戻る途中、吹雪の中で6人の地蔵様たちが顔からつららを垂らして並んでいました。じいさんは背負っていた編笠を5人の地蔵様に、最後の地蔵様には自分のかぶっていた笠をかぶせてうちへ帰りました。すると、正月の明け方、そり引きの音が聞こえてきました。「よういさ、よういさ、よういさな」じいさんが雨戸を開けてみると、あたりは明るく輝いて、6人の編笠をかぶった人たちが重い俵を軒下に下ろして帰っていきました。俵には、餅や魚や宝がどっさり詰まっていました。

よく知られた日本の昔話。扇形の枠の中に墨で描かれた絵は素朴であたたかく、お話の雰囲気をも引き立てています。雪の描き方が印象的。読んでもらえば4歳くらいから。(池之上)

ドリトル先生ガラパゴスを救う

新ドリトル先生物語 福岡 伸一 著 (朝日新聞出版)

動物と話ができるドリトル先生と、助手のスタビズくんは、英国の調査船ビーグル号が南米へ向けて出帆することを聞きつけました。南米をぐるりと回った先には、人間に侵されていない最後の楽園ガラパゴス諸島があり、2人は島を守るため、手作りの気球でビーグル号の先回りをすることにしました。コウモリが教えてくれた、鍾乳洞から噴き出す不思議なガスを気球につめ、ガラパゴスをめざします。無風状態に陥ったときはカツオドリの群れに引いてもらい、貿易風に乗れ、もうすぐ陸地が見えるという時、大雨と突風に吹き飛ばされてしまいました。気がつくとスタビズくんは、ジャングルに墜落したゴンドラの中に、ひとり取り残されていたのです。地図を作り、食べ物を探し、蛾の習性を行く先の日印にして、スタビズくんはとうとう先生と再会することができました。

ジャングルで出会ったガラパゴスゾウガメ・ジョージの話ヒントに思いついた、島を守る作戦は、動物たちの活躍で大成功。思いもよらない方法で無事に家に帰りつく結末まで、驚きの連続です。芸術や歴史にも造詣が深く、生物学者である著者ならではのエピソードがちりばめられた、新ドリトル先生物語。12~13歳から。(池田)

12月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	×	7	8	9	10
11	12	×	14	15	16	17
18	19	×	21	22	23	24
25	26	×	×	×	×	×

1月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
×	×	×	4	5	6	7
8	9	×	×	12	13	14
15	16	×	×	18	19	20
22	23	×	×	25	26	27
29	×	×				

<お知らせ>

クリスマス

特別おはなしの時間

・日時: 12月17日(土)

①4才~大人
11:00~11:30

②小学3年生~大人
11:30~12:00



・定員: 各20名(要申込)

・場所: 丸尾建築あすかホール 和室

・申込: 太子町立図書館

※大人の方も入れます。

※途中からは入れません。

開始時間前までにお越しください。

▶ ×印は休館日

(1/11は祝日の振替、12/28、1/30は館内整理日、12/29~1/3は年末年始休館)

※閉館時は返却ポストをご利用ください。(年末年始は使えません)

▶ 開館時間は10:00~18:00、金曜日は20:00まで開館

『きのこのなぐさめ』 ロン・リット・ウーン 著

枇谷 玲子・中村 冬美 訳 みすず書房 311, vii 頁 2019年8月刊 3,400円 (請求記号)474.8

留学先のノルウェーで国際結婚をしたマレーシア人の著者は、ある日、突然34年間つれ添った夫を亡くした。悲しみに打ちひしがれる著者は何とはなしにきのこの講座に申し込んだ。講座の一環で、森へ出かけ、見つけたのは白いドクツルタケ。習ったばかりの知識で毒きのこと判別できたことでのきのこに夢中になる。

雨、気温、場所、多くの条件が作用した結果、きのこに出会える。愛好家はそれぞれに秘密の場所を持っており、成長具合により水撒きをしたり、人目につかないよう枯葉をかけたりと手をかける。秘密の狩り場の情報交換は愛好家間の信頼の度合いにより、教えてもらった狩り場を侵さないのが不文律。ある仲間から「大切な人以外見せてはダメだよ」ときのこ兄弟から引き継いだという秘密の場所を見せてもらった著者は幸福感に包まれる。きのこ判別には視覚、触感、嗅覚、聴覚(ボンと音をたてるものがあるらしい)嗅覚を動員する。著者は匂いで判別に苦労する。匂いは個人的、文化的なものであり、日本の高級食材マツタケの香りが「汚い靴下」と評される。また本にアドバイスを求めても「ヤギ小屋」や「ボクトウ蛾の幼虫」と標準的でない表現であったりする。結局、なにの匂いかを知ることではなく、体験を積み重ねるしかないと思に至る。

本書はきのこの世界と夫の死による悲しみについての文章が交差しながら進む。より深くきのこの世界に入っていくことで、悲しみから癒されていく著者の様子がみられる。森のしっとりした苔や枯葉を踏む感触、匂い、しっとりしたきのこの手触りを想像しながら、なじみのないきのこや愛好家の世界が楽しめる。

(竹内)

<年末年始のお知らせ>

●年末年始の特別貸出

下記の期間、貸出冊数を倍に、貸出期間を3週間に延ばして貸し出します。

- ・特別貸出期間:12/14(水)~12/26(月)
- ・貸出冊数:

町内在住・在学・在勤の方は20冊
広域利用の方は10冊まで

●年末年始の休館

年内の通常開館は12/26(月)まで。
12/29(木)~1/3(火)は年末年始休館。
年始は1/4(水)10時より開館します。

※返却ポストは、12/28(水)17時まで利用できます。それ以降、年末年始休館中は利用できません。お気をつけください。

12月	1月	12・1月の移動図書館 (いずれも木曜日です)					
8日	12日	塚森 地域内 10:30~10:50	沖代 コミュニティーセンター 11:00~11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50	
15日	19日			原池団地 公民館 15:00~15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区農村交流センター 16:00~16:20	
22日	26日	広坂 公民館 10:30~10:50	上太田 公民館 11:00~11:20		太子ニュータウン 公民館 15:30~15:50	吉福 公民館 16:00~16:20	

地下水

土曜日にやってくる4歳のSちゃん、折り紙が得意でむずかしい恐竜を折りたいという。そこであれこれ探して、わかりやすいものを見つけて出したけれど、自分でなら何とか折れても教えるとなるとまた違う。そこで「ごめん、来週までに勉強しとくから今日はここまで」となるのだが、Sちゃんはなかなか承知してくれない。そのころ、山脇百合子さんの記事に出会った。「本って単なる印刷物である以上に幅広く、奥深いものじゃないかしら。子どもにとつて本を読んでもらうことは、五感を使った総合的な体験だと思う。読んでくれる人の声を聞いたり、膝や肩に触れたり、抱っこしてもらったり。」これにこの記者はこう続ける。「それは読み聞かせをする大人の側も同じだ。五感を使った総合的な体験だからこそ、息子のぬくもりや髪の毛の匂いがすぐさまよみがえるのだ。」図書館員というものは中々役得が多い。わが子以外にも先の体験をする。今度Sちゃんがきたら『じてんしゃにのるひとまねこぎる』の折り紙の船を作ろうとさそってみよう。

(西村)